



町田市立町田第三中学校

三中 News

第14号

令和6年 12月25日 発行

町田市本町田1853番地
電話 042(722)6095
FAX 042(721)4386
ホームページもご覧ください。

<http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida3/>
「町田第三中学校」で検索

「1年の計は元旦にあり」

二学期終業式校長式辞

【お正月に新年の目標を立てよう】

こんにちは。いよいよ今日で二学期が終わります。また、あと1週間で2024年も終わり、2025年が始まります。元旦にはいろいろな思いをもって1年の計画を立てる人も多いことでしょう。「1年の計は元旦にあり」という言葉を知っていますか。この言葉は戦国時代の武将・毛利元就の言葉だとされています。なにごとにも計画を立てるのが大切だ、という教訓です。

有効な計画を立てるには、それまでの振り返りが必要です。何ができて何ができていないのか。その振り返りをもとに、できていることはさらにレベルアップを図り、できていないことはその原因を探り、できるように改善を図っていく。

それでは今から30秒間時間を取りますので、目を閉じて心を穏やかにして2学期を振り返ってみましょう。何ができて何ができなかったのか、それを中心に考えてください。(時間)

はい、それでは目を開けてください。振り返りはできたでしょうか。今の振り返りと教室で配られる通知表、この二つをもとに、ぜひ1月1日には2025年の、そして3学期の計画を立ててください。

【今年を振り返ってみよう】

さて、2024年にどんなニュースがあったか覚えていますか。

今年は日本航空の飛行機が全焼するという事件から始まり、震度7の能登半島大地震や大雨での災害なども起こりました。また、パリオリンピック・パラリンピックにおいて、海外で行われた夏季五輪としては最多のメダルを獲得。野球では大谷選手が50・50を達成し、二年連続のMVPに選出されました。1万円札・5000円札・1000円札も新しくなりましたね。ドラゴンボールの作者鳥山明さん、ドラえもんとのび太の声優・大山のび代さんと小原乃梨子さん、ちびまる子ちゃんの声優・TARAKOさんなど、有名な漫画家や声優さんが亡くなったことにも一つの時代の終わりを感じます。流行語大賞にはドラマ『不適切にもほどがある』を略した「ふてほど」が選ばれましたが、昭和を知らない皆さんにはピンとこない流行語かもしれませんね。

【ドラえもんの最終回】

ドラえもんとのび太を演じた声優が亡くなった年ということで、ドラえもんの最終回についてお話をしたいと思います。ドラえもんの雑誌連載は30年前の1974年に終了しています。作者の藤子・F・不二雄さんは1996年に亡くなっていますが、アニメはまだ放映中です。日本中の子供たち、そして世界中の子供たちに愛されたドラえもんには、最終回が作者によっては作られていません。このためファンによっていくつかの最終話が作られています。それを掲載した同人誌が売れ過ぎて著作権上の問題にもなったものがあるほどです。その一つに、ドラえもんが電池切れで動かなくなってしまうというものがあります。ドラえもんの電池を交換すると、のび太たちとの思い出が全部消えてしまったドラえもんになってしまうと聞いたのび太は、ロボット工学の道に進み、猛勉強に励みます。そして何十年かが過ぎ、のび太は、妻となった静香と共についに記憶をもったままのドラえもんを再会する、というストーリーです。再起動したドラえもんの言葉は「のび太君、宿題はやったのかい?」でした。このような二次創作です。二次創作ではありますが、感動的なストーリーです。

【どうしても達成したい目標を見つけよう】

大好きなドラえもんとのび太の思い出をなくしたくない、との一心で努力を積み重ねるのび太。先ほど1年の計は元旦にありという話をしましたが、計画を立てるときに最も重要なのは、このような切実な動機だと思います。どうしても達成したい具体的な目標があればこそ、人間は頑張ることができます。先日2年の

職業講話でご来校いただいたあけぼの病院の医師・高村先生からも、治療がなかったご自分の難病を治そうと、文系の大学を卒業してから医学部に入り直し、見事治療方法を見つけたというお話を聞かせていただきました。ロボット工学者となったのび太や自分で自分の難病を治した高村先生のように、皆さんのなかにもすでに明確な目標をもっている人もいるかもしれません。しかし、まだ見つかっていない人も多いことでしょう。そんな人はまずやりたいことを見つけることを目標にしてみましょう。そしてぜひ自分の手で明るい未来に変えていきましょう。

冬休みは13日間あります。年末年始は学校も閉鎖され部活動もありません。もし悩みを抱えている人がいたら、信頼できる大人や冬休みのしおりに記載されている相談先などに相談してください。決して一人で抱え込まないでください。また、事故や事件に巻き込まれないよう、気を付けて生活を送ってください。

それでは来年1月8日の始業式に、皆さんの元気な笑顔に会えることを期待しています。よいお年をお迎えください。終わります。

○青森近代文学館「あおもりの校歌」

11月の全校朝礼で話題に挙げた寺山修司さんに関する企画展の案内が届きました。12月7日から3月23日まで、青森県近代文学館において開催されるそうです（入館無料）。青森まで行くのはなかなか大変かとは思いますが、もし機会があったらぜひ訪れてみてください。

ちなみに寺山修司さんが作詞されたのは、青森大学（短期大学）、三沢市立古間木小学校、三沢市立三川目小学校、太田市立休泊小学校（群馬）、そして本校の5校です。近代文学館から送っていただいた資料で、なぜ作曲者の本間雅夫さんが寺山修司さんの作詞を希望したのかという経緯が分かりました。本間雅夫さんは青森県生まれの方で、その縁があって同郷の寺山修司さんの作詞を望まれたようです。5校の校歌を読み比べてみると、寺山修司さんらしいシニカルさを感じられる歌詞が青森大学（短大）と本校の校歌でした。青森大学は短大としてスタートしてのちに大学となったため、当初は「われらの母校青森短大」という歌詞でした。青森大学（短大）の校歌の歌詞を一番だけ紹介させていただきます。

空に大きく字を書こう／書物の森に出かけよう
今こそ時は青春の／日を惜しむかにめぐりゆく
立ちて掲げん眞実は／ただ一握の灰ならず
若者よ／若者よ
われらの母校青森大学（短大）

○表彰されました

12月25日（水）終業式後、卓球部が表彰されました。おめでとうございます。

【卓球部】第7ブロック町田地区中学校卓球新人大会 男子団体 準優勝
（Bチーム以下の部）優勝

○2学期もお世話になりました

12月初めの三者面談においては、ご多用中にも関わらずご足労いただきまして誠にありがとうございました。今後も何かありましたら、遠慮なくご相談いただきますようお願いいたします。この間にもお願いした学校評価アンケートにもご協力いただき感謝申し上げます。100パーセントの提出をしていただいたクラスもあったようです。集計結果については、3学期にご報告申し上げます。

また、3学期から始まる給食無償化に関するアンケートへのご協力もありがとうございました。給食を希望して抽選に当たったお子様（個々に通知済）を対象として、3学期はランチボックスが提供されます。

12月からインフルエンザが猛威をふるい、本校でも感染者が多数出たため、12月16日から18日の3日間、1年A・B組と2年A・B組において学級閉鎖の措置を取らせていただきました。また、インフルエンザと並行して、コロナウィルス感染症やマイコプラズマ肺炎の診断を受ける生徒がちらほら出ています。冬季休業期間中も、うがい・手洗い・換気をすることで、感染予防に努めるよう、ご協力ください。

2学期も大変お世話になりました。教職員一同、心より御礼申し上げます。3学期も保護者の皆様と協力しながらよりよい学校作りに努めてまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。それではよいお年をお迎えください。